

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

CONTENTS

- ABCハウジング「秋・住まいの祭典」・・・1
- 部会学習会・・・2, 3
- すいたレジ袋削減・マイバックキャンペーン・・・4
- みどりのカーテン写真コンクール・・・5
- 廃油を使ったエコキャンドル作り、すいた地球温暖化防止実践デー・・・6
- 幸せの黄色いレシートキャンペーン・・・7
- イベント案内他・・・8

ABCハウジング「秋・住まいの祭典」 吹田市も出展！

平成28年10月16日（日）、住宅展示場・千里住宅公園のイベントに、吹田市が初めて参加しました！

市との協働取組として、「アジェンダ21すいた」の資源部会・エネルギー部会が、「暮らしとエネルギー」をテーマに「廃油を使ったエコキャンドル作り」を出展しました。これは、家庭で出た油に、綺麗な色をつけて、自分だけのキャンドルを作るワークショップです。

当日、この「エコキャンドル作り」が大盛況で、来場者のみなさんは、「私も、一度挑戦してみたい」と列をつくって待ってくれました。小さな子どもたちが、多く集まってくれたことも嬉しいですね。

「アジェンダ21すいた」のメンバーは、市民のみなさんに、廃油を再利用する方法を広めていきたいと、今回のようなワークショップをイベント等で行っています。

環境問題について、楽しい遊びを通して考えられる機会を提供したいという思いでこの活動を続けています。これからも、どんどん広げていきたいと考えています。



完成したエコキャンドル

当日は、吹田市公式キャラクターの「すいたん」も駆けつけ、お手伝いしてくれました。

すいたんには、「作ったキャンドルで、素敵なキャンドルナイトを過ごしてみたいな！」といってもらえました。

このエコキャンドルの作り方は、ガラス瓶に削ったクレヨンを入れて廃油と凝固剤を加えて固めるだけです。クレヨンの色を使い分けて、色彩豊かに作られるところも魅力ですね！みなさんも、ぜひ、おうちでエコキャンドル作りに挑戦してみてくださいね！



吹田市公式キャラクター「すいたん」と「アジェンダ21すいた」のみなさん

部会学習会「下水汚泥における資源・エネルギーの活用について」(エネルギー部会)

「アジェンダ21すいた」エネルギー部会の9月部会（9月29日）にて、都市計画部計画調整室眞壁賢治さんに講演をしていただきました。この学習会では、吹田市における下水道の実態と課題、課題解決の方策について勉強しました。日頃、知ることのない問題とその解決方法は、非常な感動を与えてくれました。学習した内容を、ご紹介します。

1 下水汚泥の発生量の増加

下水汚泥は、「排水処理や下水処理の各過程で、沈殿・濾過等により取り除かれる泥状の物質のこと」で、「有機物=汚と無機物=泥」から成ります。そして、汚泥処理は、これまで濃縮・脱水前処理、脱水の過程を踏んで、処理場で焼却や熔融され、最後は産業廃棄物として埋立処分されてきました。しかし、都市圏では人口集中・下水道普及率の増加に伴い、発生汚泥は年々増加する傾向にあります。そのため、最終処分場の残余年数の逼迫状況、並びに埋立処分場の確保が困難となっている状況を踏まえて、最終処分量の削減は急務となり、埋立処分するという従来の方策では対応できなくなってきています。

2 吹田市のリサイクルの現状

吹田市の場合、川面下水処理場で発生した汚泥は、地中の配管を通して南吹田下水処理場に送られ、南吹田下水処理場で発生した汚泥と一括処理されます。南吹田下水処理場では、発生した汚泥を濃縮・脱水前処理・脱水の過程を踏んだのち、外部搬出しています(通常の処理過程での焼却等をしていない)。そして、搬出された汚泥は、業者によって、コンポストとセメント原料として利活用されています。搬出時の臭気等の問題はあっても、汚泥を焼却しないので、焼却過程で発生する温室効果ガス—酸化二窒素(N_2O)の発生がない発生した汚泥を100%マテリアルリサイクルしています。時代の要請である資源・エネルギー利用がなされていないため、資源・エネルギーとしての利活用・再生が今後の課題となります。

3 吹田市の下水汚泥処理の今後の方向性

① 汚泥の消化—バイオガスへの活用

汚泥の消化とは、嫌気性状態に保たれた消化槽内に汚泥を30日程度滞留させることにより、有機物を嫌気性微生物の働きで分解・減容化させる過程を言います。この際に発生する下水道バイオガスは、メタンを主成分とする気体であり、自動車燃料、ガス発電、都市ガス等の代替燃料として利活用が可能です。

●メリット

臭気が削減される。汚泥の量が約半分に減量される。消化ガスを精製し、バイオガスや水素を取り出して活用できる。

●デメリット

建設コスト。大規模な建設スペース。

② 汚泥の燃料化

火力発電等に利用

●メリット

- ・火力発電等に利用した際に、生物由来の燃料であるためCO₂のカウントをされない。
- ・現在、火力発電への依存度が高い。
- ・搬出時の臭気は殆どない。

●デメリット

- ・需要先確保のため、発電会社等と長期に渡る継続契約が必要となる。



眞壁賢治さんによる講義

③ 汚泥の焼却

ー 焼却設備での焼却

●メリット

- ・建設コストが安い。
- ・焼却熱による発電が可能である。
- ・焼却灰をセメント原料に活用できる。
- ・搬出時の臭気は殆どない。
- ・焼却灰からリン回収が期待できる。

●デメリット

- ・焼却時に温室効果ガス(N₂O)を排出する。

(但し、従来の施設に比べ技術革新が行われ温室効果ガスの排出は大幅に減っている)

ー 市ゴミ処分場での償却(他の施設との連携)

●メリット

- ・市内で処分できる(地産地消)。
- ・焼却熱による発電やスラグ化など環境配慮に優れている。
- ・生汚泥は生ごみ並みの含水比率であり、生ごみ減少による炉内温度上昇を抑えられる。

●デメリット

- ・建設時の条件等により受け入れが可能であるかどうか難しい。



部会学習会の様子

4 まとめ

吹田市の下水汚泥処理の今後の方向性は、選択肢は多様であり、それぞれにメリット、デメリットがあるため、方向性の決定は難しい。

- ・下水道は、下水・下水処理水、下水熱・処理過程における熱、下水汚泥、施設空間等、豊富な資源・エネルギーポテンシャルを有している。
- ・技術開発が進み、実現しているものや試験的に導入されているものは多いが、コスト面や持続可能性など解決すべき課題も多い。
- ・既に取り組んでいる事業も含め、世間的にあまり知られていない。

5 最後に

「アジェンダ21すいた」エネルギー部会は、下水道における資源・エネルギーの活用という観点から、各方式について取組事例・コストダウン等を学び、なかなか知る機会がない下水処理の機会がない下水処理の過程や汚泥の活用について、多くの市民に知ってもらうために、見学会等を開催します。

(エネルギー部会 森田 宏)

すいたレジ袋削減・マイバッグキャンペーン(資源部会)

資源部会は「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」の一員としてレジ袋を削減し、マイバッグを推進する取り組みを行っています。

レジ袋はごみ袋の代わりに使えるので便利だと、なんとなく貰っていませんか？

あちこちのお店で断らないで貰っていると必要以上にたまって、レジ袋そのものがごみになります。国内では年間約350億枚のレジ袋が使われています。一人当たりでは約300枚になり、大半がごみとして捨てられます。レジ袋製造に年間約60万キロリットルの石油が使われ、1枚のレジ袋が燃やされると、地球温暖化の原因となるCO₂が42グラム排出されます。

レジ袋の使用を少しでも減らすことで、貴重な石油資源の節約とCO₂の排出量を減らすことができます。子どもたちの未来のためにも、レジ袋を断り、マイバッグを持参することから地球温暖化を阻止しましょう。

「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」を構成している団体は、事業者等12団体、市民団体等6団体と吹田市です。協議会のマイバッグ持参率の目標は60%ですが、現在のところ43.9%と目標にはまだ遠いのが現状です。

10月7日(金)、JR吹田駅近くのイオン吹田店を皮切りに今年度のマイバッグキャンペーンが始まりました。10月～11月の2か月間、協議会加盟店でキャンペーンを行います。あなたもお買い物には、ぜひマイバッグを持っておでかけください。

すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会団体一覧表

事業者等	イオンリテール株式会社 株式会社 いかりスーパーマーケット イズミヤ株式会社 生活協同組合コープこうべ 株式会社 関西スーパーマーケット 株式会社 光洋 株式会社 ダイエー 株式会社 平和堂 株式会社 ライフコーポレーション 吹田商工会議所 吹田市商業団体連合会
市民団体等	アジェンダ21すいた 吹田市自治会連合協議会 吹田市消費者団体協議会 吹田市廃棄物減量等推進員地区代表者連絡会 吹田母子会 公益財団法人 千里リサイクルプラザ
行政	吹田市



マイバッグキャンペーンの様子

(資源部会 水川 晶子)

「みどりのカーテン写真コンクール」 結果発表！（自然部会、エネルギー部会）

恒例の「みどりのカーテン写真コンクール」ですが、本年は7名8点の応募がありました。「アジェンダ21すいた」の自然部会・エネルギー部会による選考の結果、「金賞」、「銀賞」、「アジェンダ賞」の作品が決定しました。そのなかから、金賞と銀賞をご紹介します。どれも、力作で立派なみどりのカーテンです。



金賞 「みどりのカーテンと子ども」

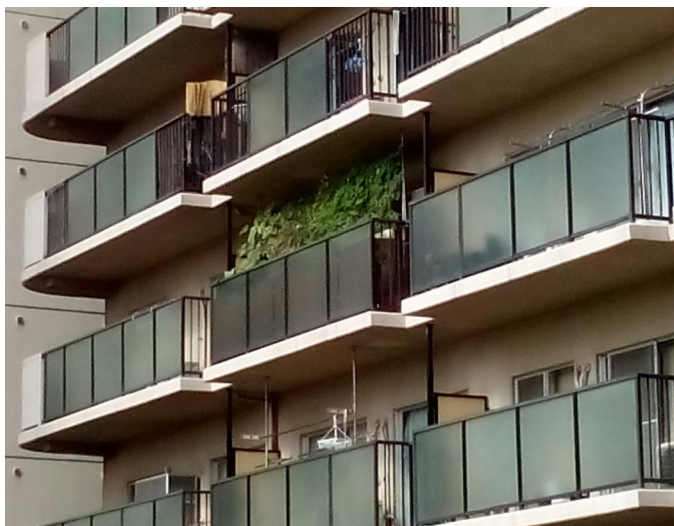


「アジェンダ21すいた」の自然部会・エネルギー部会では、毎年春に身近なエコの啓発活動として「みどりのカーテン講座」を開催し、たくさんの方に参加していただいています。

窓際やベランダで、ツル性の植物を育てることで、葉の蒸散作用により室内の温度上昇を和らげ、実った野菜をおいしくいただくことのできる「みどりのカーテン」。

エネルギーの削減や生活環境について関心を持っておられる方が、増えてきていることは喜ばしいことです。今後も、内容を検討しつつ、継続していきたいと思っています。

（自然部会 馬場 多佳子）



銀賞 「マンションのベランダにて」

吹田市立博物館夏季展示

「廃油を使ったエコキャンドル作り」(エネルギー部会、資源部会)

今年も、博物館の夏の行事として、7月30日(土)に第3回目となる「エコキャンドル作り」を開催しました。たくさんのお申込みの中から、当日は、28名の子どもたちと保護者の方々にご参加いただきました。

キャンドル作りの説明後、グラスに色とりどりのマーカーで、自分の好きな絵を描いてもらいました。

どれも個性があって、見ているスタッフも楽しむことができました。ローソクの色は、黄色・オレンジ色・赤色です。ピンクや水色がないのは、廃油が新しい油より色が濃いいため、綺麗な色が出ないからだそうです。

ろうそくが固まるまでの時間には、エコキャンドル作りはどのようなところがエコなのかについて、廃油を下水に流すとなかなか分解されないことなどについてお話をし、子どもたちからは活発な意見も出ました。また、吹田市内に廃油の回収ステーションが何か所かあることも知らせることができました。当日も、廃油を持参して参加してくださった方もいらっしゃいました。

最後に、出来上がったキャンドルを前に、参加者の感想を聞きましたが、楽しかったという声が多かったです。これからも夏休みの恒例の行事となれば良いと思います。

(エネルギー部会 奥田倫子)



手作りのエコキャンドル



子どもたちが作品を作っている様子

地球温暖化問題プロジェクト「すいた地球温暖化防止実践デー」

今年度の「アジェンダ21すいた」全体事業として、「すいた地球温暖化防止実践デー」(平成29年2月18日(土)予定)を実施します。三輪代表をプロジェクトリーダーに、会員の有志が集まってこれまでに企画会議を3回開催しました。

第1回はブレーストーミングで、アイデアを出し合いました。第2回は第1回のアイデアを発展させ、実践につながる第一歩として、多くの市民、団体、事業者から、温暖化防止実践のために「〇〇をします」という宣言を集めようと考えました。詳細はこれから詰めていきますが、11月ごろには皆様にお知らせできるようにします。

ぜひ、あなたの第一歩をみんなに向かって宣言しましょう！

なお、企画会議はスタートしていますが、途中からでもメンバーに入っただけです。有志の方は、事務局までお問い合わせください。

(池淵 佐知子)

イオン「幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式

イオン北千里店の「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式が10月2日（日）に実施されました。これは、お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンが社会貢献活動費として各団体に寄贈する取り組みです。イオン北千里店では、11団体が参加しています。

今回、全団体に寄付された金額の合計は「112,900円」で、「アジェンダ21すいた」は、「2,200円」をいただきました。PTA、福祉委員会、ガールスカウト等の団体が参加されていますが、そのなかでも、「32,800円」を獲得された「おおさか・すいたハウス」の活動に関心が引かれました。この贈呈式で、「アジェンダ21すいた」の名前と活動内容を、さらに知ってもらう必要があると痛切に感じました。

※「おおさか・すいたハウス」とは、国立循環器病研究センターに入院又は通院中の20未満の患者と付き添いの家族が対象の滞在施設のことです。（エネルギー部会 福井 一彦）



贈呈式の記念撮影

寄付金募集！！「すいた市民環境会議」が「市民共同発電所」をつくります！

NPO法人「すいた市民環境会議」では、「持続可能な社会」を目指してできることは何かと考え、吹田市に「市民共同発電所」を作ることになりました。「市民共同発電所」とは、みんなの力を合わせてつくる自然エネルギー発電施設です。災害時には、非常用電源として市民が利用することもできます。

そこで、南高浜町の「ドリーマーぷくぷく（社会福祉法人）」の屋根に、約9.4kWの太陽光発電を設置することにしました。次年度以降も、環境イベントを開催して、理解を得ながら資金に目途がつけば、順次、太陽光発電を設置していく予定です。

ドリーマーぷくぷくへの設置費用は260万円。そのうち、100万円は大阪府から補助金をいただき、残りは市民の皆さんに「寄付」や「協力金」をお願いしています。「寄付」は市内のいろいろなイベントでお願いをするほか、下記振替口座への振り込みをお願いしています。

ただいま、「協力金」20口を募集中です。寄付も協力金も、「クリーンなエネルギーを吹田に！」との願いの証です。ぜひご協力をお願いいたします。

※「協力金」は、一口5万円で、そのうち任意の額を寄付金としていただき、それ以外を、無利息で5年後にお返しするというものです。

振込口座

【郵便振替 口座番号】00980-3-28845

【加入者名】すいた市民環境会議

詳細

協力金申込み 06-6319-0630（小田）

※留守の場合はメッセージを入れてください。

（NPO法人すいた市民環境会議 喜田久美子）



夏祭りでのカンパの様子

各種募集・イベント案内

すいた環境連続セミナー2016 受講者募集！

第1回 自然とどう向き合うか

「身近な自然が危ない！ ―生物多様性向上のための地域戦略を―」（野間 直彦さん）

「地域で閉じない里山を考える ―都市と山村で成り立つ里山経済圏―」（佐久間 大輔さん）

◆日時／11月26日（土）午後14時から16時30分

◆ところ／千里市民センター（千里ニュータウンプラザ内）

◆費用／無料

◆申込／電話かFAXかメールで、公益財団法人千里リサイクルプラザ事務局へ
電話 6877-5300・FAX 6876-0530



「びわこ×さかな×すいた」受講者募集！

魚の生態や私たちと琵琶湖のつながりについて学びます。講座のほかに、展示・体験コーナーもあります。琵琶湖博物館から、移動博物館がやってきます！

◆日時／12月4日（日）イベント：午前10時～午後16時（エントランス）

講座：午後13時30分～15時30分（多目的ルーム）

◆ところ／千里市民センター（千里ニュータウンプラザ内）

◆講師／金尾 滋史さん（滋賀県立琵琶湖博物館 主任学芸員）

◆定員／60名（講座のみ要申込み）

◆申し込み及び問い合わせ／電話かFAXで環境政策室へ。

電話 6384-1782・FAX 6368-9900

◆申込みは、11/4（金）から先着順

自然観察会「木の実と鳥の観察会」参加者募集！

生物多様性という観点から、今まで気づかなかった鳥類と植物の関係を観察します。

◆日時／12月18日（日）午前9時30分集合 12時ころ解散

◆ところ／万博自然文化園（自然文化園中央口集合、自然観察学習館内解散）

◆講師／平 軍二さん（NPO法人すいた市民環境会議理事）

◆定員／20名

◆費用／無料（入園料別途必要）

◆申し込み及び問い合わせ／電話かFAXでアジェンダ21すいた事務局（環境政策室）へ。

ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

【会費】

◆正会員 個人1,000円／年

団体5,000円／年

◆賛助会員 1口1,000円／年

◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付

部会活動への参加、主催行事への参加など

アジェンダ21すいたニュースレター

第40号（平成28年10月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

吹田市環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900

E-mail：env-keikaku@city.suita.osaka.jp

企画・編集：アジェンダ21すいた『エコセン』